

学校規模・配置の適正化にかかわる地域懇談会の概要について

・期間及び会場	7月7日から7月29日	市内14ヵ所(中学校体育館等)
・参加者	延べ270人	
・発言者及び意見用紙提出数	発言者60人(実数) 意見用紙56枚	
・意見等	197件(内訳:会場での発言134件・意見用紙63件)	

○参加者の会場別内訳

忍路中学校	17人	塩谷中学校	15人	長橋中学校	12人
北山中学校	31人	末広中学校	25人	西陵中学校	18人
青園中学校	26人	松ヶ枝中学校	17人	向陽中学校	15人
潮見台中学校	14人	桜町中学校	16人	望洋台中学校	10人
朝里中学校	25人	銭函中学校	29人		

○意見等の分類について

懇談会で寄せられた意見等について主な16項目に分類し、それ以外のものを「その他」とした。

1 具体的な進め方(スケジュール)について・・・25件

◇内訳

- ・具体的なスケジュールの提示を望むもの 10件
- ・早期の実施を望むもの 8件
- ・進め方に関する意見・質問 7件

2 老朽化・耐震整備対応について・・・22件

◇子供の安全にかかわることがらであり、耐震・老朽対策を強く進めるようにとの意見がほとんどでした。

3 小規模校について・・・22件

◇内訳

- ・「小規模校の課題」の記述に関する意見 15件
- ・学校運営のためには一定の規模が必要との意見 2件
- ・複式校に関する意見 2件
- ・その他 3件

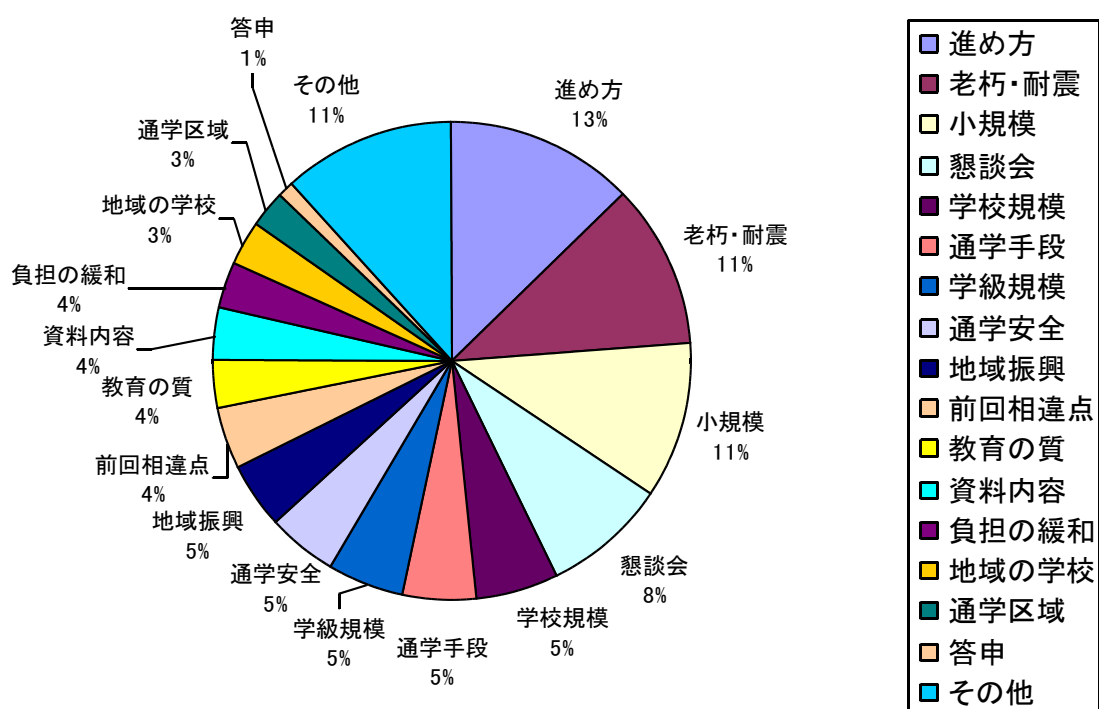
4 懇談会について・・・16件

◇内訳

- ・会場の設定に関する意見 8件
- ・周知の方法に関する意見 3件

・日程に関する意見	2件
・その他	3件
5 学校規模について	10件
◇内訳	
・学校規模の適正化は理解する	6件
・学校規模の基準を機械的に当てはめないでほしい	2件
・その他	2件
6 通学（手段）について	10件
◇内訳	
・スクールバス導入は慎重に考慮すべき	5件
・スクールバスの検討について	4件
・便数が少なく路線バス通学に不便を感じる	1件
7 学級規模について	10件
◇内訳	
・少人数学級に関する意見	7件
・40人近い学級になると良い環境とは言えない	2件
・その他	1件
8 通学（安全）について	9件
9 地域の振興について	9件
10 これまでの適正配置との考え方の違いについて	8件
11 教育の質の向上 について	7件
12 懇談会資料の内容について	7件
13 統廃合による心の負担の緩和について	7件
14 「地域の学校を残してほしい」という意見	6件
15 通学区域について	5件
16 検討委員会答申との関係 について	2件
※その他	22件

○項目ごとの内訳



※割合の合計は個々の計算の積み上げのため100にならない